学校番号	1006

令和２年度　家庭科

教科	家庭	科目	発達と保育	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「子どもの発達と保育」　（実教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・子どもの発達や子育てに関心を持ち、その特性や発達過程について理解しましょう。
・子どもの発達と保育に関する知識・技術・能力を身に付けましょう。
・子どもの発達と保育について、保育所交流等により実践的・体験的学習で学びます。意欲的に参加しましょう。

２　学習の到達目標

子どもの発達の特徴や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得させ、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	子どもの発達や子育て支援について関心をもち、実際にこどもに関わろうとする意欲と態度を身に付けている。	子どもを生み育てることや、家族の役割や地域の子育て支援などについて課題を見いだし、思考を深め、適切に判断し、自身の考えを表現する能力を身に付けている。	こどもと触れ合ったり、子育て支援を行っている人々と交流を図ったりする学習を通して、子どもを取り巻く問題について調査し、情報を収集・整理することができる。	子どもの発達の特徴や発達過程、保育などに関する知識を習得し、子どもの行動や生活に関する基本的な事項について理解している。
評価方法	・授業プリント ・ワークシート ・観察等	・授業プリント ・ワークシート ・実習レポート ・観察等	・授業プリント ・ワークシート ・実習レポート ・実習制作物 ・観察等	・授業プリント ・ワークシート ・定期考査 ・観察等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1期	子どもの発達と特性	学習の進め方 1章子どもの発達と特性 1節発達と乳幼児期の意義 ・子どもの発達 ・乳幼児期の特徴 2節発達と保育環境 ・発達と保育環境のかかわり ・保育環境を整える 3節児童観と発達観	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:人間の発達に関して興味・関心をもち乳幼児期の発達について概略を学ぼうとしている。 b:歴史的な経過を踏まえながら、子どもの発達観について考察し、判断できる。 現代における発達観を踏まえて、自分自身が考察し、その方向性を判断することができる。 c:自分自身の児童観・発達観について客観的に分析・考察し、学習の動機付けとすることができる。 d:人の一生を生涯発達として捉え、乳幼児期の大切さについて理解できる。 児童観や発達観に関するおもな歴史的な考え方を理解し、知識として身に付けている。	授業プリント ワークシート 実習レポート 定期考査
	子どもの保育	4章子どもの保育 ・保育の意義と重要性 ・DVD「保育実習について」 ○名札の制作 ○保育所交流実習 ○絵本・ペープサートの制作	○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:集団保育と家庭保育の観点から、子どもを保育する意義について学ぼうとうする意欲が見られる。 子どもの生活全般(健康・食生活・衣生活・遊び・生活環境・病気・安全など)について、広く関心を持ち、理解しようとする態度が見られる。 b:・集団保育・家庭保育、それぞれにおける場面での子どもとの適切な関わり方について理解を深めることができる。保育園や幼稚園への訪問実習を通して子どもの生活や行動などを観察し、客観的に分析し、それらをレポートなどの形式でまとめることができる。 c:保育園の訪問実習を通して、子どもの生活や行動などを観察する。 d:保育の意義や重要性について、理解できる。 ・保育の場としての家庭保育と集団保育があることを知識として習得し、それぞれの特徴や役割を理解している。	授業プリント ワークシート 実習レポート 定期考査 作品制作

2 期	子どもの発達の過程	2章子どもの発達の過程 ・子どもの発育につて ・子どもの精神発達 ・人間関係の発達	○	○	○	○	a:胎児の発達の特徴について関心をもっている。 b:胎児の発育・発達には、母体を中心に様々な要素が必要であることを理解し、考えを深めている。 c:乳幼児の発達の観点から、子どもの行動などを見て、子ども特有の行動パターンや感情を表出などが推察でき、子どもの行動を理解することができる。 d:新生児期から乳幼児期までの身体的・生理的な発達の特徴を知識として習得し、それらを、子どもの関わり方に応用することできる。	授業プリント ワークシート 定期考査
	子どもの生活	3章子どもの生活 ・生活と養護 ・子どもの遊び ○ブランケットの制作	○ ○	○	○	○	a:子どもの生活全般(健康・食生活・衣生活・遊び・生活環境・病気・安全など)について、広く関心を持ち、理解しようとする態度が見られる。 b:子どもにとっての適切な生活の条件について思考し、子どもの養護全般について応用することができる。 c:子どもの生活を擁護するために必要な技能を、教科書の資料（図・表）を通して身に付けている。 d:子どもの生活全般において、子どもが健康で安全に生活するために必要な、知識と技術を具体的な方法として身に付けている。	授業プリント ワークシート 実習レポート 定期考査 作品制作
3 期	子どもの保育	4章子どもの保育 ○保育所交流実習	○	○	○	○	a:集団保育と家庭保育の観点から、子どもを保育する意義について学ぼうとうする意欲が見られる。 　子どもの生活全般(健康・食生活・衣生活・遊び・生活環境・病気・安全など)について、広く関心を持ち、理解しようとする態度が見られる。 b:・集団保育・家庭保育、それぞれにおける場面での子どもとの適切な関わり方について理解を深めることができる。保育園や幼稚園への訪問実習を通して子どもの生活や行動などを観察し、客観的に分析し、それらをレポートなどの形式でまとめることができる。 c:保育園の訪問実習を通して、子どもの生活や行動などを観察する。 d:保育の意義や重要性について、理解できる。 ・保育の場としての家庭保育と集団保育があることを知識として習得し、それぞれの特徴や役割を理解している。	授業プリント ワークシート 実習レポート

	子どもの福祉	5章子どもの福祉 ・子どもの福祉	○	○	○	○	a:人権の観点から、児童福祉に関する考え方や法律・機関等について興味・関心を持っている。 b:子どもを健やかに育てていくためには、具体的な施策が必要であることがわかり、今後の施策の方向などを判断することができる。現代における子ども・子育てに関わる問題点や課題について自身の考えを述べることができる。 c:現代における子ども・子育てに関わる問題点や解決について自身で情報収集することができる。 d:児童福祉の考え方やそれに関わる制度を知識として習得している。それらを踏まえて、子どもや子育てを取り巻く問題点や課題について理解している。	授業プリント ワークシート 実習レポート 定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:思考・判断・表現
c:技能　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。